

平成 30 年度 第 2 回あわら市図書館協議会 会議録

- 1 日 時 平成 31 年 2 月 15 日 (水) 午後 2 時～4 時 30 分
- 2 場 所 金津本陣 IKOSSA 3 階研修室 2
- 3 会議日程
  - 1 開 会
  - 2 委員長あいさつ
  - 3 協議事項
    - (1) 図書館の運営について
    - (2) 平成 29 年度図書館事業報告について
  - 4 その他
  - 5 閉 会
- 4 会議資料 会議次第
- 5 出席委員 黒川智子・土田多恵・近藤順子・前田恵美・伊佐田啓子  
笹原美輪子・岩佐寛・蔵野幾夫・川崎扶美子
- 6 欠席委員 小濱弘範
- 7 委員以外の出席者  
岡田晃昌 (文化学習課長)  
(事務局) 佐藤雅美 (金津図書館長)・久嶋一廣 (芦原図書館長)  
見野部素子 (金津図書館司書)・河村みゆき (芦原図書館司書)
- 8 傍聴者 なし

9 開 会 (事務局：開会を告げる。)

10 委員長あいさつ (岩佐委員長)

昨年の冬を考えますとすごしやすい冬でしたね。さて、最近、有料図書館というものがあ  
ることをはじめて知りました。どんな制度やどんな施設であっても、その地域の特性に合わ  
なければ意味がありませんが、都会ではそんな需要があるのかと驚きました。その中で、六  
本木にある、アカデミーヒルズとかいう有料図書館を見てみましたら、図書館の中がいくつ  
かのゾーンに分かれていて、まったく会話できないとか、飲食が OK だったり、会話は OK  
だけど飲食はだめとか、というようになっているようです。どんな人が利用するのかと思  
いましたら、研究者のサロンというか、知識人のサロンのような感じでした。営業時間は 17  
時間ぐらいで、新しい専門書もたくさん入っているサロンのなもので、今はそんな時代にな  
っているのかと思いました。これからどういう風になっていくのかわかりませんが、いいも  
のは取りいれて、地域に密着していくというのが一番だと思います。今日は短い時間ですが、  
いつものように有意義な時間になるように皆様のご意見をお聞きしたいと思います。

11 庶務報告 (事務局)

定足数 (半数) について、委員 10 名中 9 名出席による会議の成立を報告する。

12 協議事項

規定により、岩佐委員長が議長となり会議を進める。

協議事項の (1) 図書館の運営について (2) 平成 30 年度図書館事業報告についての順  
に、事務局から説明を行う。

13 質疑応答

議 長 事務局からの説明の内、まず蔵書統計や利用状況で何かありませんか。

委員 H 廃棄はどれくらいですか、

事務局 金津図書館は年間 100 冊くらいです。芦原館は 100 冊～200 冊くらい廃棄予定の  
本がたまると除籍しています。手元に資料がないので、正確な数字は申し上げられ  
ないですが、2000 冊まではいっていません。まだまだ除籍しなければいけない本が  
ありますが、できていない状況です。

議 長 以前のお話だと芦原図書館は大量の蔵書の除籍が必要とのことでしたが？

事務局 まだまだ途中の状態です。

議長  
事務局

貸し出し冊数は増えていますが、来館者は減っていますね。

昨年同時期と比較して、貸出は37,725人だったのが37,118人で減少しています。特に金津祭りの3日間で前年と比べて400人ぐらい減っているのが大きいと思います。前年は金津祭り期間中は雨だったので、雨宿りにイコッサに入ってきて、ついでに図書館を見に来られた方が多かったのですが、今年は晴天だったので図書館に入って来る人が多くなかったというのも要因の一つだと思います。

議長  
事務局

登録者数というのは、過去から現在までの数ですね。1年間でどれくらい登録されるのですか。何をきっかけに登録するのですか。減らないんですか。

一番増えるのは、ブックスタートの時に「赤ちゃんも貸し出しカードを作れます」とご案内すると、その場で作る方が多いです。1日で10人ぐらい登録することがありますね。そのほか図書館に初めて来て本を借りたいという方や、転勤などで市内に引っ越してこられた方などがいます。それから家族の方から「もういない（亡くなった）」とお聞きすると削除していますが、定期的に確認をしているわけではありません。県立図書館などは時々登録の更新をしているようですが、あわら市はしていません。

委員E  
事務局  
委員E  
事務局

総登録数はどれくらいの数になりますか。

資料にあるように両館で、12,069人です。

これはあわら市以外の方の数も入っていますか。

そうです。坂井市の方は普通に登録できますし、市外の人でも、あわら市内に勤めていたり、あわら市の学校に来ている人も作れますので、その方たちも入っています。

委員H  
事務局

ブックスタートの時に登録者が増えるということですが、どれくらいの方が登録しますか？

1年間で生まれる赤ちゃんが175人くらいで、ブックスタート会場にはその7割くらいがいらっしゃいますが、その時によって、全員作る時もあるれば、「上の子のカードがあるからいいわ」という方などいろいろで、一概には言えません。

委員H  
事務局

その時に勧めないのですか？

全員にお勧めはしています。「0歳から作れます。すぐに使えますよ」とお勧めしています。ブックスタートが始まった頃よりは、お勧めすると作ってくださる方が増えました。お母さんたちも、最初の頃は「こんな小さいのに絵本なんて」という反応だったのですが、最近は「もう読んでいます」とか、「そろそろ読んであげようと思って、どんな本がいいか迷っていたのでうれしい」という声が聞かれます。

委員H  
事務局  
議長

その時に、お母さんが登録してないことがありますよね。一緒に親も作れるといいですね。

はい、親の分もその場でお作りしています。

レファレンスは図書館で重要な仕事だと思いますが、レファレンスという言葉とか、意味とかをわかってない方もおられると思います。レファレンスの宣伝はやっていますか。

事務局

HPとか、図書館案内などで、「調べ物のお手伝いをします」というように載せています。レファレンスだけの宣伝はやっていません。通常の業務の中で、お客様とお話していて、その場でレファレンスになるということもあります。

委員C  
事務局

レファレンスの件数が出ていますが、この中で何か面白いものがありますか。

金津館では郷土資料的なことがよくありますが、「面白いもの」言われても、急には出てきません。

委員C

たとえば、歴史なら歴史で「こんなお問い合わせがありました」というのをどこかに貼ってくださると、「職員に聞けばいいのか」とわかってくれると思います。大変で申し訳ないんですが。

事務局

レファレンスは答えを教えるものではないので・・・。

ややこしいのは、郷土史の質問ですが、特に金津館に来る質問は、1件のレファレンスで、半日から何日間も調べることがあります。それから、先日、芦原館であった面白い例として、人気グループの「嵐」が解散するというので、メンバーの名

前が入っている相葉神社が話題になって、「あわら市に相葉神社があるって聞いたんだけど」と質問があったのですが、郷土史だと文献に載っていないものが多く、この「相葉神社」も「福井県神社誌」の中に1行「境内社」として名前が載っているだけでした。それで、大きく宣伝もできませんでした。

委員C その場でわからなかった時には「ご存知の方教えてください」と書いてもいいと思います。県立図書館ではレファレンスの例が載っていますね。

事務局 全国的にもレファレンスをデータベース化したものがありますね。

委員C 大変だと思いますが、「来館者を増やす」「レファレンスで気軽に聞いてもらうことから始める」ということで、ちょっと始めてみてはどうかと思います。

事務局 金津図書館に「夜明けの図書館」というコミックがありますが、図書館のことを漫画にしようとする、本の貸し借りなどは地味なせい、レファレンスがメインで取りあげられているんですね。今5巻まであります。面白くて、図書館の役割を考えさせられるコミックです。金津館にありますので、一度読んでみてください。

議長 なかなか本の場所がわからなくてカウンターで聞いてしまうことがあります、これもレファレンスに入るんですかね。

事務局 それは入れていません。ただ、どこまでがレファレンスかというのは人によって捕らえ方が違うので難しいですね。たとえば、私の場合ですと「夜明けの図書館」はどこにありますかというのはレファレンスには入れませんが、「図書館の司書のことを扱ったコミックはありますか」という質問だったら、レファレンスの数に入れますね。

議長 次に3の活動および行事について何かありませんか。

議長 開館記念の行事がいろいろあったようですが、「ストーリーテリングのおはなし会」というのは初めてですか。

事務局 通常のおはなし会ですと、絵本を読むのですが、ストーリーテリングは語り手がお話を覚えて語ります。職員3人でいしましたが、参加されたのは5名で少なかったです。5周年のイベントのチラシに載せただけで、別にストーリーテリングのチラシは作りませんでしたので、宣伝が足りなかったのかなと反省しています。

委員H どんな方が参加したんですか。

事務局 子供が3人とその保護者の方と近藤委員でした。

委員H 時間はそんなに長くないのですか。

事務局 全体で30分くらいです。

委員H 何話か集まって30分なのですね。子供たちも聞いていられたのですね。

事務局 来ていたのが、小学校中学年ぐらいの子だったので聞いていました。絵のない話だけなので、あまり小さいお子さんと、まだ、無理ですね。

議長 芦原図書館で「紙芝居の会」とあるのは津田さんですか？

事務局 あわら市の保育士を退職された阪藤美千代さんという方で、昔、宇野重吉が福井で芝居の指導をされた時に一緒に舞台に立った方です。芝居の上手な方ですね。

委員G 民話講演会が金津でありましたが、非常に面白かったので芦原でもやってみてはどうですか。

事務局 芦原館では民話の会ではなく、昨年「昔話のおはなし会」を行いました。親子孫3代にわたって参加していただきまして、それがきっかけで、ストーリーテリングの会ができました。

委員G 芦原で「民話の会」の講演会はやらないのですか。

事務局 今のところ予定はありません。ストーリーテリングの会でストーリーテラーの養成を行っておりますが、その会で2019年度中に発表の場を設けて、皆さんにお聞かせできたらよいと計画しています。

委員G 民話講演会は非常によかったですので、できれば両館で行ってほしいです。子供に聞かせたいし、大人にも昔を振り返ってもらいたいと思いました。

委員C 学校図書室訪問は今までやっていましたか？

事務局 今回初めてで、今のところ今年だけの予定です。金津地区の小学校は金津中学校の渡辺司書が行っているの、図書館では芦原地区の小学校を行ないました。この

経緯については芦原中学校の土田先生がよくご存知なので説明していただければと思います。

委員 B 私自身もともと英語の教員ですが、最近では司書として芦原地区の小学校の巡回もやっていた。今年からは産休に入った英語の教員がいて、人が足りなくて英語の教員と司書の両方兼ねておりました。そのため小学校まで行っていただけないということで、図書館から行っていただいています。来年は私も司書だけに戻してもらえそうです。

事務局 たまたまそういう形で司書が小学校に行っているのですが、教育長も喜んでいて。こういうきっかけで、図書館と小学校との連携がより進めばと思います。

委員 H 内容はどのようなものですか？

事務局 芦原小学校は河村、本荘小学校は見野部、北潟小学校は見澤が行っております。それぞれ、月に1回ですが、担当の先生と話をし、何をやるか決めています。ただ、こちらからいろいろな提案をするのですが、「お金がないのでできない」と言われることもあります。

委員 H 学校の本は古いですね。年代物の本がありますね。私たちにとっては懐かしい本ですが、今の子どもたちにとっては「どうだろう？」と思う本もあつたりしますね。

事務局 学校の本はカバーをはずしてあって、しかもコーティングもしてないので、傷みが早いんですね。しかも、公共図書館だと、傷んだらまずカバーをはずして寿命を延ばすのですが、学校の本はそれができない。新しい本が入っても、汚い本の中にぽつぽつとあるのでは、わかりません。芦原小学校では、新しい本は別に並べてあって、その本はよく動いているようですが、古い本は全然動かないのだろうなと思います。

事務局 先日 TV でやりましたが、学校図書館で子供が本を借りたら、中にある貸し出しカードにその子の父親の名前が書いてあったというくらい、古い本があるということですね。

委員 B 学校の予算が少ないんですね。小学校は本当に少ないので、公共図書館との連携が本当に大事だと思うんです。

議長 芦原図書館は「読み聞かせ」が多いのはなぜですか。

事務局 これは、敬愛こども園が近くにあつて、散歩に来られた時によく絵本を見て借りていかれるのですが、その時にお時間があれば読み聞かせを聞いていただいています。園に行くわけではなく、来て下さるので、できる事です。1クラス10人程度なので、児童室のカーペットに座ってもらって行っています。

委員 H 先日、北潟公民館で本を借りたのですが、2週間借りられるのかと思って聞いたら、「いつでもいいです」と言われて。理由を聞いてみたら、利用者が少ないらしいですね。

事務局 月に数人しか借りる人がいないそうです。

委員 H 公民館便りに図書貸し出しのことが載っているんですが、ほとんど見向きもされないですね。ロビーに在るのですが、どうせなら明るい方へ置いたらいいのではないですか。中を見ると新しい本も入っているんですが。

事務局 毎月交換はしています。

委員 H 公民館も、もうちょっと工夫してくれるといいと思うのですが。

事務局 公民館の場所も集落から少し離れたところにあつて行きにくいので、行く人が決まってしまうのかもしれない。

委員 H 講座とか催し物があるときに行くくらいですね。車で図書館に行けない人が利用できると思うのですが。

事務局 本荘公民館でもやっているのですが、結構利用があるみたいです。あの公民館は新しいし、集落の真ん中にありますので、用はなくても人が集まってくるようです。

委員 H 北潟は場所も悪くて、皆さん行かないですね。

事務局 図書館を使う方は、北潟地区の方も結構いらっしゃる感じがします。今、数値でお出しはできないのですが。

委員 H 公民館ではなく図書館に来てしまうんですね。読み聞かせのボランティアの方も

毎週活動してますよね。

事務局 芦原地区は読み聞かせボランティアは盛んですね。各学校で毎週のようにやってらっしゃるので驚きました。

委員 H 三国町でも読み聞かせはあったのですが、一般の方が来るのは元保育士が1人とあとは民生委員さんが1人で熱心になさってました。読むのがそれほど上手ではないですが、子どもたちにとっては祖父母に読んでもらうような感じでした。北潟小学校へ私は行っていませんが、友達が毎週行っていたので、熱心だなと思いました。

議長  
事務局 1階の図書館と2階資料館との合同のイベントとかは考えていないんですか。今回はスタンプラリーを一緒にやりました。また、2階で展示があるとそれに絡んだ本の展示などをしました。今後もいろいろと考えて行きたいです。ほかの館の例だとコンサートホールの建物にある図書館で、コンサートの出演者に関連したコーナーを図書館に設けるとかしているようです。去年、金津図書館でも、商工観光課がロビーで起業支援のパネルを展示しましたが、それに関係する本を集めて、図書館の中でコーナーを設けました。そういうふうに、2階とも連携して行きたいです。

議長 ほかに関心、要望などありましたらお聞きしたい。

委員 D 金津図書館で読み聞かせをしたときに、小さい子を連れてお母さんから「支援センターが休みの時に小さい子を遊ばせる場所がない」とお聞きしました。「ここは防音じゃありませんし」って言われて、お話をやっている場所なので、「子どもが普通に遊ぶ分には大丈夫ですよ」って言ってさしあげたかったのですが、図書館的にはどうなのでしょう。どのくらいを想定されているか、小さいお子さんがせっかく靴を脱いで入る場所なので、どんなものでしょう。

事務局 いつも読み聞かせで出されているぐらいの声なら大丈夫ですし、「常識の範囲内」としか言えないのですが。

委員 D お母さんが子どもを遊ばせに来るには不適切かもしれませんが、「30分ぐらいならいいのかな」と思ってみたり。

事務局 まあ、「常識の範囲内」としか言えないですね。お客さんの中にも神経質な方と、子どものことだからと我慢してくださる方といますから。神経質な方から「うるさい」と言われて、「みんな我慢してます」とは言えないので、そういう時には、お母さん方に「申し訳ございませんがもう少し小さい声で」とお願いするしかありません。杓子定規に「何デシベル以上はだめ」とは言えないです。ただこれまでは他の人に迷惑がかかるほどあの部屋でうるさくするというのは、あまりなかったです。

委員 D 使う方が遠慮して来ない方もおられるのかなと、その方の話を聞いて思ったりもしています。

事務局 あの部屋でうるさいと言うより、小さなお子さんがフロアを駆け回っていることなどはありますね。

議長 他にありませんか。それではこれで終了します。

16 閉会（議長に続き、事務局から閉会を告げる。）

.....